

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月19日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	黒潮町	代表者名	松本 敏郎
担当者部署	情報防災課	連絡先電話番号	0880-43-2188
担当者役職	主幹	担当者氏名	中屋力信
		連絡先E-mail	
住所	789-1992 高知県黒潮町入野5893番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"> デジタル人材確保に対する依頼について、当町の事情に沿った協力をお約束いただき光明が見えた。 前回の相談でご紹介いただいたWSを今回の相談で実際に開催していただき、実際の展開手法が見えてきた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月15日	14時00分	16時00分		120
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知見を有する人材の確保が困難。 DXの本質としてデジタル技術の導入が目的ではなく、業務改善の先にあるデジタル技術の導入であることを職員の意識に定着させる。 	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 自治体DXを勧める具体的な組織案 町の目指すビジョンの設定 具体的なロードマップの作成 	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 人材確保について関係者に打診いただける胸す承いただいた。 WSによる課題抽出を実践いただき、整理された課題の先にあるデジタル技術の導入を可視化することができた。 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	事業継続中につきなし	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	事業継続中につきなし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 必要ないため実施しない	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	2025年度中に国の定める17業務の標準化 2023年度中に業務効率化、地域課題解決に向けたデジタル化	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

